

株式会社 長岡塗装店(島根県松江市)

【塗装・防水・建築・アスベスト除去工事など】

商工会議所のイテオン

人材の
確保・定着



LEADER

常務取締役 古志野 純子 氏

若手社員の短期間での離職、優秀な社員の高齢化など、人材不足の悩みを抱えていた株式会社 長岡塗装店。社員の課題を一つずつ解決し、多様な人材の活躍を推進することで、3Kと言われる業種でありながら、離職者はなく、企業の信用度を向上させている。

制度整備と風土、経営者の強い意志で人材を定着

■背景・きっかけ:

「若者が長続きせず、すぐ辞めてしまう」「社員が高齢化し、有資格者がいなくなる」など、このままでは会社が存続できなくなるという危機感が、柔軟な働き方を考えるきっかけとなった。18年前にさかのぼる。当時、役員は男性3人、社員は16人(男性13人、女性3人)で、建設業独特の男社会であった。

古志野常務は、「一番の財産は多様な『人材力』。カッコいい職人が笑って働ける会社になりたい」との熱い思いから、若年者を定着させるために行動を起こした。

■取組内容・効果:

育児問題を抱える男性新入社員を目の前に、2002年、①子の看護休暇(有給休暇とは別に年5日の有給)の30分単位での取得を可能に、②本人・配偶者に出産祝い金10万円を支給、③保育料の3分の1を補助、④育児のための始業・終業の繰り上げ・繰り下げを設定した。あわせて、介護のためにも、家族の介護サービス利用費用の3分の1の補助や、始業・終業の繰り上げ・繰り下げ、制約のない社員向けにも、国家試験・各種資格取得の奨励・経費を補助する制度を整備した。

その後も、育児休業や子が小学校に入学した社員のために、子の看護休暇を高校卒業まで延長したり、就学中の子一人につき月1万円の子ども手当を20歳まで支給するなど、個々の社員のケースに真摯に向き合い、対応してきた。

また、高齢社員からの要望にも応え、高齢者継続雇用制度を70歳まで延長するなど、制度を見直している。

社員のニーズにあわせて設けた制度は、すべて利用されている。様々な取り組みを継続的に進めた結果、若手社員の定着につながってきているほか、女性の現場社員の採用など、効果が着実に表れてきている。

■今後の展望と課題:

古志野常務は、「誰もが育児や介護を抱える『制約社員』になるかもしれない。社員皆がいきいきと働くためには、制度に加え、風土、そして経営者の意思(ビジョン)が重要」と語る。制度は完璧を求めず、利用しながら見直し、改善することをモットーにしている。

社員の健康、安全に配慮し、次のGWは10連休を計画中だと言う。同社は質の高い仕事ぶりが評価され、国や島根県などの表彰を受賞しているが、「これらの取り組みを業界全体にも広げ、働く環境を良くしていきたい」と意気込む。



中小企業の実践ポイント

- 社員を年齢や性別で大きくくくらず、一つずつ問題に対処する
- 制度は利用しながら柔軟に見直し、改善していく

【企業データ】

代表者	社長 古志野 功	会社設立年	1965年	従業員数	25人(男性18人、女性7人)
本社所在地	島根県松江市西嫁島1丁目2番14号	ホームページ	http://www.nagaoka-toso.co.jp/		
事業内容	塗装・防水・建築・アスベスト除去工事など				